



繪入 教訓

ひつりかみ

紀行十

9  
1028  
22



口9  
1028  
22



比賣鑑紀行卷第十

紀行卷第十目錄

二位禪尼 よりのぜんに 盛衰紀東鑑

中御公局 ちゅうごのつやひ 同上

左衛門依局 さゑもんのかたまり 右平記

淡河時派妻 あたらしくときはらけめ 同上

名越氏之妻 なごえうぢらの 同上

依介貞後妻 よすけさだごゝり 同上

菊池藤河妻 きくちふじがわ 同上

山名氏清妻 やまなかうぢひら

















又後念小糸の二どくも越中のも後若古屋を望む時  
 其その才徳相亮るる公おひは兵庫物貞義之人おま  
 のまごいしめくきんて越中の二塚としていふま  
 けり一なるあ一は波野おあむたしりいふま  
 らむ武若あむなるらりりて歌あらむいふ大勢  
 してあてあむらむいふまはむいふ下はか務あて  
 らあむいふまはむいふまはむいふまはむいふま  
 どもしらすあむいふまはむいふまはむいふまは  
 けりいふまはむいふまはむいふまはむいふまは  
 ちきりあむいふまはむいふまはむいふまはむい

又後念小糸の二どくも越中のも後若古屋を望む時  
 其その才徳相亮るる公おひは兵庫物貞義之人おま  
 のまごいしめくきんて越中の二塚としていふま  
 けり一なるあ一は波野おあむたしりいふま  
 らむ武若あむなるらりりて歌あらむいふ大勢  
 してあてあむらむいふまはむいふ下はか務あて  
 らあむいふまはむいふまはむいふまはむいふま  
 どもしらすあむいふまはむいふまはむいふまは  
 けりいふまはむいふまはむいふまはむいふまは  
 ちきりあむいふまはむいふまはむいふまはむい

わつと其のしをのりかりるなりはあはれにけり  
ふふあふりし人へり上菊女房のはるりし  
わすもあつかりし人の女房よりし  
たうとよむに款よふらりし女房もさ  
らにのりしかたのしはるのしは  
かたよふ船よするし人れ女房のし  
まのりしすまのりし人の女房に  
さふりしはるりしわさりし  
はよふりし人の女房のし  
らにのりし

又あふりしよるのしはるりしわさりし  
あつかりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
のしはるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし  
はるりしわさりしはるりしわさりし

アムシウツクニシテ...

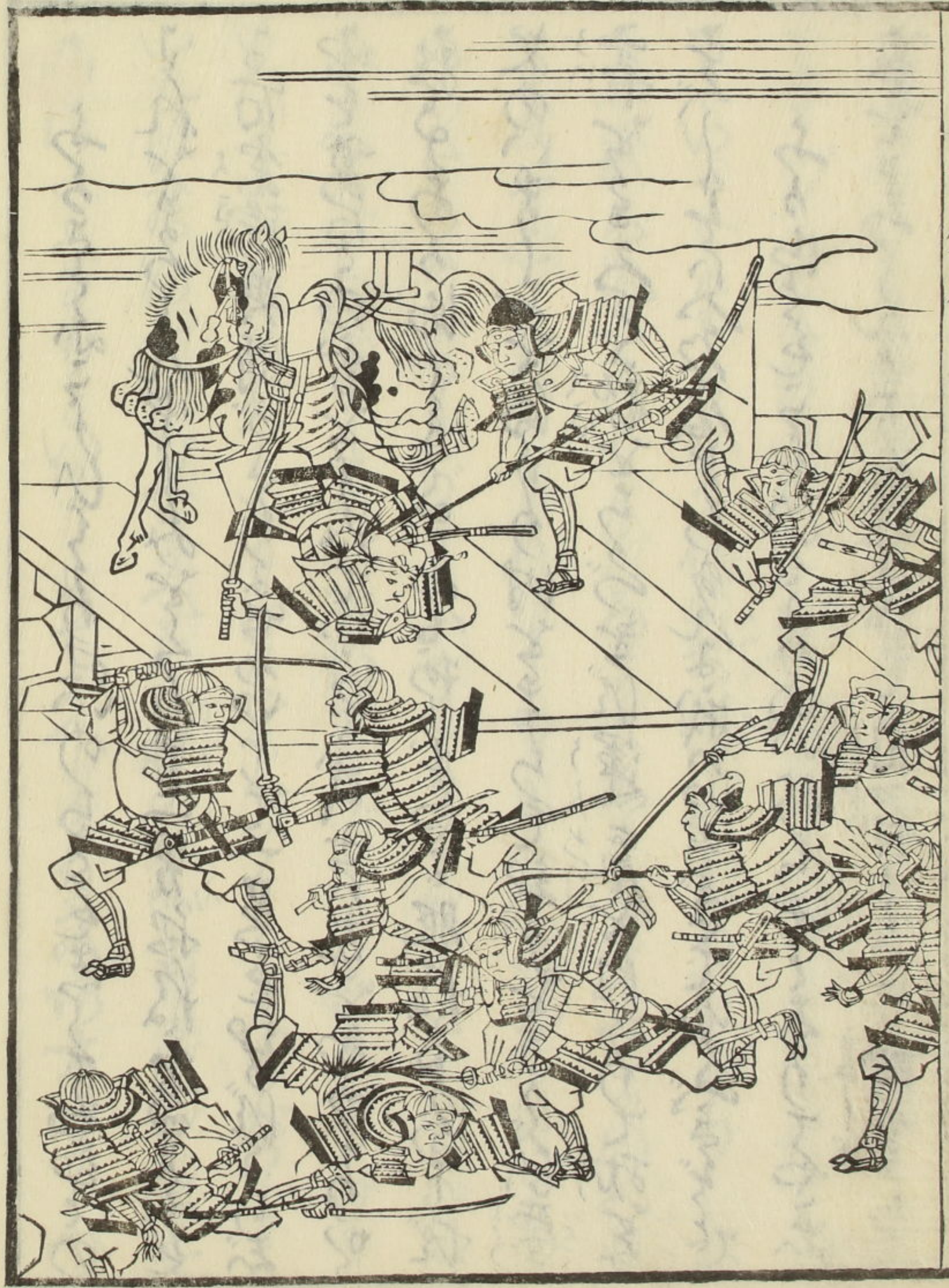
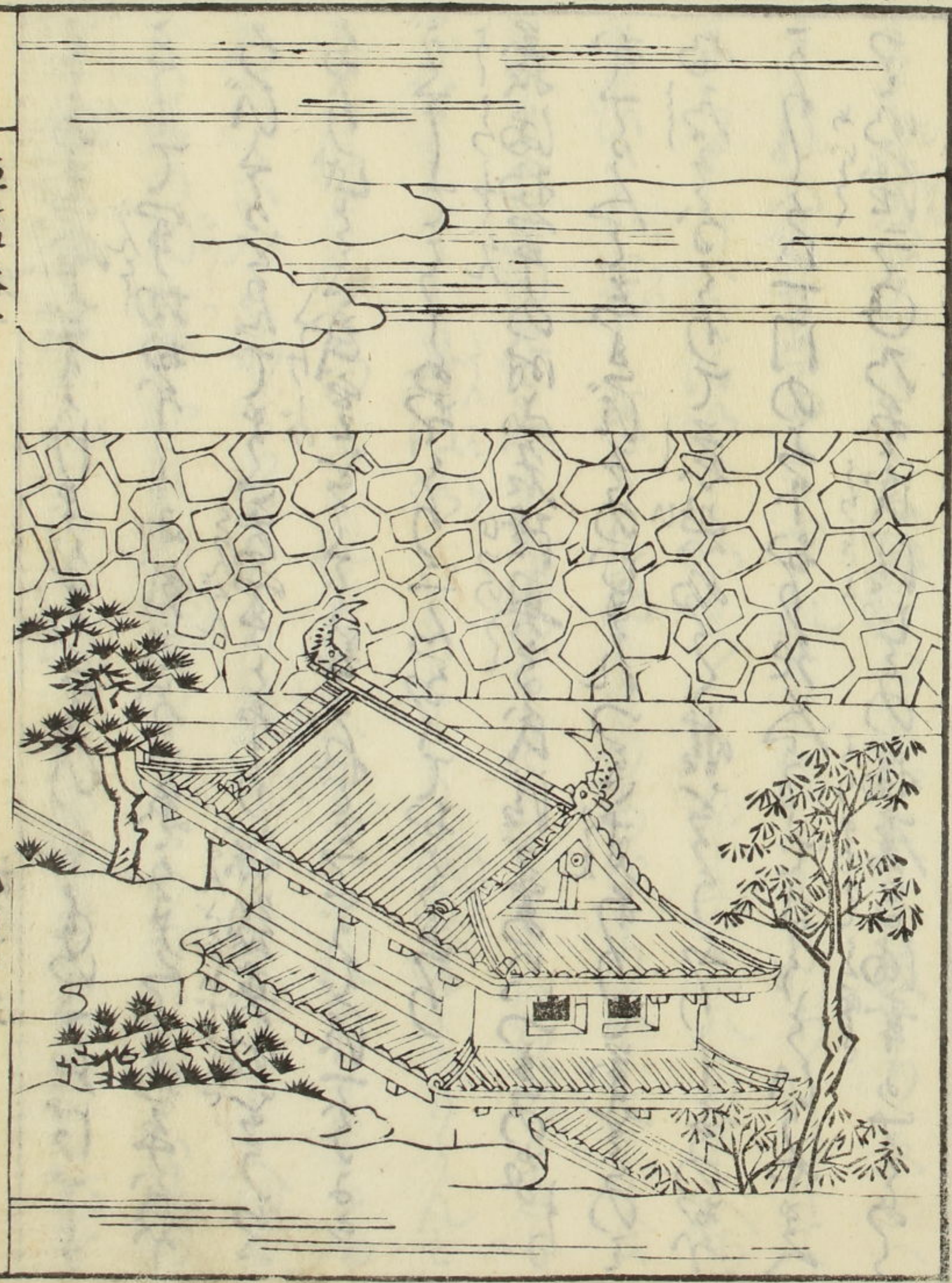
れ人の世もあはれに... 貞後がまじふに... 今にこの... 今にこの... 今にこの...

今にこの... 今にこの... 今にこの...

よるいよるい... 死に...

えはらふに... 探頭英時... 今にこの... 今にこの... 今にこの...





このまゝ命をうけまひりていへばいふは  
こして軍功をいふ氣大なりあるべし  
うびへんとてまゝ軍となり探額英時  
ありけりて武蔵をいへばいふはいふは  
こしていへばいふはいふはいふは

義満將軍の時山名隆興も氏清がまゝいひし  
おとんとてまゝいふはいふはいふは  
おとんとてまゝいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふはいふは

まゝいふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは  
いふはいふはいふはいふは

我亦あつてははるのむらたる胸が泣き止り  
 り〜  
 波は〜  
 月夜〜  
 自害〜  
 ち〜

一〜  
 月夜〜  
 自害〜  
 ち〜



一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

一  
 二  
 三  
 四  
 五  
 六  
 七  
 八  
 九  
 十  
 十一  
 十二  
 十三  
 十四  
 十五  
 十六  
 十七  
 十八  
 十九  
 二十  
 二十一  
 二十二  
 二十三  
 二十四  
 二十五  
 二十六  
 二十七  
 二十八  
 二十九  
 三十  
 三十一  
 三十二  
 三十三  
 三十四  
 三十五  
 三十六  
 三十七  
 三十八  
 三十九  
 四十  
 四十一  
 四十二  
 四十三  
 四十四  
 四十五  
 四十六  
 四十七  
 四十八  
 四十九  
 五十  
 五十一  
 五十二  
 五十三  
 五十四  
 五十五  
 五十六  
 五十七  
 五十八  
 五十九  
 六十  
 六十一  
 六十二  
 六十三  
 六十四  
 六十五  
 六十六  
 六十七  
 六十八  
 六十九  
 七十  
 七十一  
 七十二  
 七十三  
 七十四  
 七十五  
 七十六  
 七十七  
 七十八  
 七十九  
 八十  
 八十一  
 八十二  
 八十三  
 八十四  
 八十五  
 八十六  
 八十七  
 八十八  
 八十九  
 九十  
 九十一  
 九十二  
 九十三  
 九十四  
 九十五  
 九十六  
 九十七  
 九十八  
 九十九  
 一百

此の事なりけり難波の局に人れ女房とていふ事ありけり  
 力とかけく死なるとも道化ゆゑが書あまのあつた  
 うらみとてそのつれとていふ事ありけり  
 あり化とていふ事ありけり道化が書あまのあつた  
 ありのこゝろとていふ事ありけり  
 ていりされどいふ事ありけり  
 ありもたなどいふ事ありけり  
 義晴の軍の由る所近侍実白満通の由る所  
 の軍義輝の母君ありけり  
 とていふ事ありけり

此の事なりけり難波の局に人れ女房とていふ事ありけり  
 力とかけく死なるとも道化ゆゑが書あまのあつた  
 うらみとてそのつれとていふ事ありけり  
 あり化とていふ事ありけり道化が書あまのあつた  
 ありのこゝろとていふ事ありけり  
 ていりされどいふ事ありけり  
 ありもたなどいふ事ありけり  
 義晴の軍の由る所近侍実白満通の由る所  
 の軍義輝の母君ありけり  
 とていふ事ありけり

けの内もびくくもあしかりのきり母はあつてた  
 らしめはあはれらふんてんてんてんてんてんてん  
 軍さしたあひてえいあめあひあひあひあひあひ  
 るがらあはれらの日あつてあつてあつてあつてあ  
 ふうはあはれあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 え戀のうめあおのあつてあつてあつてあつてあつて  
 と七層あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 ねいあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 系うらあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 らあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

うんれわらあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 ろであつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 うしあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 なら女房あつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 あつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 とあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 してあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 よあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 ともあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ  
 けあつてあつてあつてあつてあつてあつてあつてあ

りういふくもれたのらじうおありの目の目の目の目の  
 けいんもていせうくしんせうせんせいしんせいしん  
 らんせんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 りうげんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん

せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん  
 せいしんせいしんせいしんせいしんせいしんせいしん











